

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	48	入居者様の真のニーズに合ったケアが提供されているか？	より多く笑顔がみられるような、張り合いのある生活を送ることができる。	個々のカンファレンスやモニタリングを通しての、その人らしい生活とは何かを見極め、寄り添うケアを行う。	6ヶ月
2	35	全職員が様々な有事に対しての適切な対応が出来るのか？	職員全員が火災、水害、地震など柔軟かつ適切に対応ができる。	防災訓練の回数を増やす。(現在、年四回実施⇒年六回)	12ヶ月
3	40	嚥下機能・身体機能の低下また、介護度の重度化に伴い食事形態が多様化している。	個々に合った食事が提供できる。 どのスタッフが作ってもいんどりや栄養バランスも良く、美味しい食事が提供できる。 食事が楽しみになるようにする。	手作りおやつを増やす。 高齢者好みのメニューの提供。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。